



市P連だより

ごあいさつ



尾道市PTA連合会
第20代会長
山元 剛介

本年度、尾道市PTA連合会の第20代会長を承りました山元剛介です。単Pの方は栗原中学校の会長としております。保護者の皆様には平素よりPTA(育友会等)活動に積極的にご参加されておられる事、また各単位PTAの会長様・母代の皆様を始め役員の方々には「子ども達の為に」という思いで様々な場面で活躍されておられる事に対して敬意を表する所でありませぬ。

義務教育の中でも小学校の時手をなさない事、高学年になると目をはなさない事が大切であると言われます。実際に何か行事ごとがあれば多くの保護者の方が参加するもの頃だと思います。中学校になると自律の準備とか言われているように子ども達に大きな変化が現れます。朝起きてお早うと声をかけてもある日突然返事をしなくなったりとかいつた反抗期特有の出来事を多くの方が経験していらつしやる事と思います。そういった状態だからかもしれないが中学になると少しPTAから離れるご家庭も多くあるように見受けられます。しかし、そんな時だからこそ親は心を離してはいけないんたろうと思えます。ぜひ多くの保護者の方々が力を合わせ小学校・中学校共に学校行事等に参加し子ども達と先生方と積極的に接して頂きたいと思えます。

では、PTAの役割はどういった所にあるのでしょうか。各単位PTAによって様々な考え方や取組方があると思いますが私自身は子ども達が様々な事を学ぶ事の出来る環境を学校と協力しながら一緒になって作ってゆく事が大切な役割の一つであると考えています。

よく車の両輪にたとえられますが時にはそれはプラス後押しをする事も必要であると考えます。尾道市PTA連合会としても会長や役員会を通じて情報交換や会員相互の交流をしていきたいと思えますし、そういった場をより提供できるように考えて行きますので多くの方に市P連を利用して頂きたいと思えます。

また市P連の大きな事業としてソフトボール大会と教育フォーラムが挙げられると思えますが、この大会の意義を考えた時に一つの会場に一千名を超える多くの会員の方が集うという事が挙げられます。みんなが親睦を深めたり、みんなが講演や実践発表を聞いたりする事で参加された方が子ども達の為にこんなにも多くの会員の方々が関心を持ち勉強をし頑張っているという事をしつてもらうことが大切な事のように思えます。

今年度は市P連も65周年を迎えました。長い年月をかけて先達が築かれてきたものを大切にしながら、またお手本としながら様々な課題に取り組んでいきます。特に今年度に関してはメディアの件(特にラインの問題)に取り組んでいこうと思っています。この問題では多数の学校で同時にやり取りが出来る為一つの学校の中だけでの指導や対応が難しいという事や、学校には携帯等は持って来ないといった決まりがあり家庭等で使用している事や、夜中まで連絡を取り合つて翌日眠くて授業にならない等の状況があり、家庭での対応をお願いする必要があるからです。予期しない犯罪や事故に巻き込まれたり、睡眠不足で学校生活に支障をきたしたりする事で未来ある子ども達の人生を今の段階で決めてしまいう可能性もあります。そういった事がないように何らかの提言が出来ればと思っています。

保護者の方のご協力をお願い致します。

尾道全体から、また各地域から子ども達の明るい声がいっまでも聞こえるように親として子ども達の将来の為に単P役員の方、関係諸団体の方、市P連役員の方たちと一緒にみんなで取り組んでいきたいと思えます。保護者の皆さんにとっては子どもがいる今しか出来ない活動です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

定例総会



5月17日に尾道国際ホテルで、平成26年度定例総会が開催されました。

出席者は146名、委任状11名の提出により、会則に基づき会議が成立していることの報告のあと、議事は移りました。

議事では、平成25年度公務報告、決算報告がされ、監査委員から監査報告後、全会一致で承認されました。

その後、市P連新会長に山元剛介さん、その他役員、監査委員の提案がされ、すべて承認されました。

山元剛介新市P連会長の所信表明に引き続き、平成26年度事業計画、予算案等が審議され、審議事項はすべて承認されました。

山元新会長から、「子ども達の為に」と題して、尾道全体から、また各地域から子ども達の明るい声がいっまでも聞こえるよう

に親として子ども達の将来のために多くの方と一緒にみんなで取り組んでいきたいと挨拶され、会場から大きな拍手が起こりました。

総会終了後、市P連主催の研修会として、尾道市教育委員会教育長の佐藤昌弘様から「尾道さくらプランの成果と尾道みらいプランについて」と題した講話がありました。平成17年度からスタートしたさくらプランの成果と課題の説明の後、本年度から実施しているみらいプランの説明があり、とても意義深い研修会となりました。

その他、PTA功労者表彰規定に基づき、半田前会長をはじめ多くの方々が栄誉ある賞を贈られました。

旧役員の方々も、大変お疲れ様でした。



表紙 要望書の提出

去る7月7日、市P連正副会長と幼P連会長による挨拶と、要望活動を行うため、平谷市長、藤本市議会議長、佐藤教育長を表敬訪問しました。

表敬訪問における要望活動は、各小中学校及び、幼稚園からの個々の要望に合わせ、PTA連合会として一丸となった要望を行うことと尾道市の教育発展のため、尾道の次代を担う子ども達のために、教育環境の改善を図ることの願いから行われているものです。

市P連からは、経験豊富な退職された先生方を補助の先生として配置、これからの学校図書について話し合える機会、耐震工事期間の騒音振動対策と空調機器の設置等を重点要望事項と掲げました。

あわせて会員の皆さまが、参観日や様々な学校活動の中で感じ、各学校ごとに集約された内容が、少しでも現実のものとなるようにと、市P連会長から重ねて要望させて頂きました。

平谷市長からは、「要望については順次検討していきます。今の子ども達は将来のグローバル化に対応していかななくてはならないので早いうちから英語になじむよう考えて行っている。今後の英語教育に理解をお願いしたい。」などのコメントがありました。

藤本議長からは、「補助の先生の配置については予算もあるが少しずつ考えて実現して行っている。今後も大切な事なので検討していく。」とのコメントがありました。

佐藤教育長からは、「学校図書の利用については要望と同様な認識を持っている。特に中学校ではもっと有効利用するよう考えていきたい。」その他の要望については今後も検討していく。」とのコメントがありました。

その他、教育全般に関する幅広い意見交換がされ、内容の濃い表敬訪問となりました。



筆頭副会長

宗田雅弘

本年度、筆頭副会長を務めさせて頂きます。因島ブロックの宗田雅弘です。山元会長を少しでもお手伝い出来るよう、また、親睦ソフボール大会、教育フォーラム等の行事と各会議、運営がスムーズに進行出来るよう努力して参りますので、皆さんの協力よろしくお願いたします。



PTA、市P連の役割は、と考えた時、以前聞いたもので、『親が子どもに対して子育ての為に4訓』というものがあります。

①乳児期は肌を離さず、②幼児期は手を離さず、③少年期は目を離さず、④青年期は心離さず、という言葉があります。まさに皆さんの子ども達は青少年期ですが、どの様に接していますか？

親の期待や思いは子ども達にはなかなか伝わらないものです。しかし、上手にコミュニケーションを取り、会話をし、子どもが一番の理解者であってほしいのです。各学校のPTA、そして市P連が、そのほんの少しでもお手伝い出来れば幸いです。

この一年間の行事を通して、保護者の方々と色々な話し合いをし、子ども達の学びやすい、過ごしやすい環境を一番に考え、たくさん親子の笑顔が見れるよう活動して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

総務部担当 副会長 土屋 研

本年度、「総務部」担当副会長をさせて頂きます。土屋です。所属単Pは栗原中学校ブロックの栗原中学校で、副会長をしています。



昨年度までは「おやじ部会」担当の副会長をしていました。「おやじ部会」を後進にゆだねて、今年度は「総務部」担当となりました。「総務部会」の役割は何かと考えたときに、尾道市PTA連合会の規約で言えば、事務局の運営・予算立案・会議の議案作成・各行事の受付の運営・各単Pの情報収集・相談窓口ですが、守備範囲

安全部担当 副会長 柴川輝明

が広くなかなか全体のイメージが湧いてきませんが、協力していただける執行役員の皆様方と試行錯誤しながら、他の部会のお荷物にならないように出来る範囲内で、せいじっばい頑張りたいと思います。

また、早急に結果は出ないと思いますが、基本に立ち戻り、PTAのあり方(親のあり方)、市P連としての活動内容等の意義等を考えられたいと思います。

これは私の持論ですが、PTAの活動は特定の人間がかなりの無理をして行うのではなく、関わりのある人間が少しずつ無理(協力)をして大きな活動になるのが本当のPTA活動だと思っています。皆様方の少しのご協力を頂き一年間意義のある活動が出来れば有り難いと思います。

今年度は尾道市PTA連合会創立65周年の年でもあり、他の部会の方々と派手ではないがしっかりと足跡を残して行けたらと思っています。

本年度も安全部担当の副会長をさせて頂きます。御調中学校PTA会長の柴川輝明です。一年間どうぞ宜しくお願致します。

安全部会としての役割は、「児童・生徒の生活と安全に関する事業の企画立案と運営。こども110番事業」が主な活動です。各地域の皆様のご協力により、登下校時の見守りや、不審者と遭遇した際に子ども達が駆け込める「110番の家」も、交通安全大会でのPR活動を通じて年々登録して頂ける方が増えてきております。



本年度は、昨年から取り組んでおります「電子メディア対策」として、携帯・スマートフォン等が児童・生徒に与える影響を調査し、その対策を検討していきたいと計画しております。

尾道市内の公立の小・中・高等学校は、児童・生徒へ校内への携帯電話の持ち込みを原則では禁止していますが、現状は各家庭の事情や安全対策の面からも、子どもに持たせる家庭が多くなっています。

体育部担当 副会長 村上伸

携帯電話は便利な面、子どもにとっては危険と隣り合わせの機器にもなります。安全部会では各学校の現状を把握して、各部会と連携し、保護者の皆様の意見を反映できる活動をしたいたいと思っています。

子ども達が安心して登下校でき、笑顔で学校生活が送れるよう、皆様のご協力なにとぞよろしくお願致します。

本年度、体育部担当の副会長をさせて頂きます。因島ブロック代表・重井小学校PTA会長の村上伸です。

今年度は、尾道市P連の会長に山元会長が就任され、また尾道市PTA連合会が結成65周年と言う節目の年度になります。その大切な節目の年の体育部を任せられ、頑張らなければと、気合が入っております。

体育部の主な担当としては、毎年9月に行われている親睦ソフボール大会があります。今年度もびんご運動公園体育館にて、9月14日(日)に市P連親睦ソフボール大会を行う事としております。昨年の向島ブロックの『おもてなしの心』笑顔で紡ぐ親睦の架け橋のコンセプトである、橋が繋がっている因島から尾道全校のPTAの輪を大切にしようとしてしまなみ、おのみち、みんなのわーをスローガンとし、大会の準備を進めております。

この大会のメインでもある『親睦』ですが、読んで字の通り、親が仲睦まじく行う事が大切です。この市P連のソフボール大会を通じて、学校単位の繋がりがから中学校ブロック、そして尾道全体へと親睦の輪が広がれば良いなと思っています。なによりも私たち大人が、生き生きと楽しく交流を持っている姿を、子ども達に見せていく事が大事だと思います。そして、交流を持つことがどんなに大切な事なのかを子ども達に教えていければと思います。

因島ブロックのスタッフ全員で、親が仲睦まじく交流する場を作ってまいりますので、是非参加してください。そして、尾道の子どもの為に、地域の子どもの為に、市P連の活動へ皆さまの協力を宜しくお願致します。

今年度は、尾道市P連の会長に山元会長が就任され、また尾道市PTA連合会が結成65周年と言う節目の年度になります。その大切な節目の年の体育部を任せられ、頑張らなければと、気合が入っております。

今年度は、尾道市P連の会長に山元会長が就任され、また尾道市PTA連合会が結成65周年と言う節目の年度になります。その大切な節目の年の体育部を任せられ、頑張らなければと、気合が入っております。

今年度は、尾道市P連の会長に山元会長が就任され、また尾道市PTA連合会が結成65周年と言う節目の年度になります。その大切な節目の年の体育部を任せられ、頑張らなければと、気合が入っております。



今年で、65周年を迎えるにあたり、尾道市PTA連合会の経緯を通じて広く皆さんに知って頂くとともに、より事業へのご理解、ご協力を賜るため、また、後世に残る記念誌「あゆみ」の作成する予定ですので、皆様に情報提供等のご協力をお願いいたします。



この冊子には、現代の子ども達を取り巻く環境について、グローバルな情報がほんとうに簡単に手に入る便利な環境になった反面、有害な情報もすぐに入手できるという複雑な状況になってきています。このような状況から電子メディア使用についての問題点と対策等について大きく取り上げて行く予定です。

「尾道を誇りに思う子ども達を育てるため、我々保護者は、今しか体験できない貴重な時間を子ども達に感謝し、一生懸命に取り組む姿勢(背中)を見せていきましょう。」



昨年度に引き続き、尾道市立中学校15校の会長で組織する中学校会長会の会長を務めさせて頂き、長江中学校教育友会会長の安藤能孝です。

副会長に石嵩さん(吉和中)・松浦さん(浦崎中)・中川さん(因島南中)・幸野さん(瀬戸田中)書記に横山さん(美木中)・井上さん(高西中)の役員で運営してまいります。各学期に一度開催する会長会議が活動の中心となりますがよろしくお願いたします。

今年度は特に「スマホ・携帯電話」と「学校図書館」の2点を中心に情報交換をしていきたいと思っております。

中学生がスマートフォンや携帯電話のコミュニケーションサイトを通じて犯罪被害に巻き込まれる事件が全国で発生しています。子ども達の大切な時間を守り、安心して中学生生活が送れる環境を作ってやるのは保護者のつとめ。スマホや携帯電話の使用に関しては保護者が毅然とした態度

度で対応することが大切です。そのためにも、スマホ・携帯電話の使用に関するルール作りを市内の中学校が足並みを揃えて実施することができたらと思っております。

また、本の冊数は揃っているが「本が動いていない図書室」の現状や中学生の読書離れがすすむ中、どうやったら学校図書館が元気になるか。各校の現状を話し合いながら保護者として出来ることを考えていきたいと思っております。

皆さんの大切なお子様が中学校でも健やかに育まれるよう、市内全中学校会長が力を合わせて取り組んで参りますので、ご協力をお願いいたします。

小学校会長会

榎賀庸雄



今年度、小学校会長会の会長を務めさせて頂き、日比崎小学校PTA会長の榎賀庸雄です。

今年度は副会長に長江小学校の渡邊さん・原田小学校の清戸さん・西藤小学校の高橋さん、書記に土堂小学校の寺本さん・山波小学校の布袋屋さんというメンバーで協力をして運営して行きますので、一年間どうぞよろしくお願いたします。

今年度の小学校会長会としての活動は、基本は昨年度と同様に、各学期ごとに開催する会長会議での情報交換を中心とし、その中に学校訪問を加えた内容にする予定にしております。

PTA活動に対する考え方は、人それぞれ、学校それぞれによって色々な考え方が有ると思っておりますが、私は「学校や地域と協力をして、子ども達を取り巻く環境を整える」事が、PTAの役割だと思っております。

尾道市内の小中学校と言っても、各学校ごとに地域性・児童数・学校を取り巻く環境など、それぞれ課題や問題点などは違うかと思っております。

しかし小学校会長会で行う情報交換を通じて、各単Pの抱える課題や問題点を解決する糸口になればと思っております。

この小学校会長会が各単Pの活動に対して、少しでもお役に立てる物になるようにという思いで活動して行こうと思っております。

皆様へのお礼



長男が小学校へ入学してからこの3月に三男が中学校を卒業するまで、14年間PTAに関わらせて頂きました。振り返ってみますと、落ち着きのない子ども達の為に読み聞かせをしたり、大人の頑張りを見せようとPTAで合唱をしたりと、様々な活動をたくさんの保護者や先生方に支えてもらいながら、一緒に楽しく行っていました。

また市P連では4年間副会長として関わらせて頂き、色んな人や地域との繋がりをもたせてもらえました。加藤元会長、半田前会長をはじめとする役員さん、会員皆様のおかげをもちまして、役職をまっとう出来ました事を感謝申し上げます。

PTAは、保護者が人との繋がりや地域との繋がりにより、社会を知り自分を成長させることができる場であり、社会教育を体感しその活動すべてが、子ども達へ、地域へとつながっていきます。子ども達のために、子どもがいる今しかできないPTA活動にぜひとも、積極的に参加して頂けるよう、お願いいたします。子ども達と共に学び、共に成長することが、きっと明るい未来へつながって行くと思います。

私も今後は地域の一員として、因島水軍まつり等を通して多くの人と繋がり、子ども達へ伝えていければと思っています。皆様、ありがとうございました。

尾道市PTA連合会 顧問 一色 伸良

広報紙コンクール 優秀賞受賞

広島県PTA連合会が主催している「小・中学校PTA広報紙コンクール」において、県内多数の学校が応募する中、尾道市では次の各校が受賞、本当におめでとうございます。

なお、優秀賞受賞作品は、全国小・中学校PTA広報紙コンクールに県代表として提出されます。全国入賞に期待が高まっています。

- 優秀賞 尾道市立土堂小学校教育友会 Ti-PRESS
- 優秀賞 尾道市立栗原小学校教育友会 乗っこタイムズ
- 優秀賞 尾道市立高須小学校PTA たかすっ子
- 優秀賞 尾道市立向東中学校PTA 地の塩

市民総参加で子どもを守り育てる地域宣言～おのみち～



現在登録受付中!

こども110番

- 110番の家
- 車用ステッカー
- 自転車・バイク用ステッカー
- わんわんパトロール隊

子ども達の見守りに地域の方々のご協力をお願いします。

